



句集 CHINETSU

地熱

金子恵美 Kaneko Emi

大地の奥に脈打つ熱のように、
胸の底に息づく記憶と情熱。

父母への思慕、旅の風景、日常の哀歓を、
繊細な感性と芯の強いまなざしで詠み上げる。
静かな抒情の奥に、生への深い思いを秘めた
金子恵美の第三句集。全262句収録。



帯文= 高田正子 装丁=奥村靱正
四六判並製/156頁/定価2750円(10%税込)

元朝の海は太古の青なりき
一瞬にして一点の揚雲雀
香水をつけて流離の始まりぬ
蛇衣を脱ぐその先は問はぬなり
髪洗ふ罪あるごとく身を折りて
父を待つおしろい花の曲がり角
冬銀河卑弥呼の謎を語り出す
あれからと言ひながら脱ぐ革手套

—収録作品より—

金子恵美 (かねこ えみ)

1956年、愛知県生まれ。1984年、作句開始。
1990年、「藍生」入会、黒田杏子に師事。
2016年、第一句集『白日傘』刊。2020年、第二句集『波音』刊。
現在、「深海」「いぶき」「青麗」所属、俳人協会会員。

病を得ないことより立ち上がり方が大事だ。

黙深くして炎天の石となる

日頃は明るい笑顔の恵美さんの底知れぬ横顔。

—— 高田正子(「青麗」主宰)

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

番線印	注文数	句集 地熱 ちねつ 金子恵美 著
	冊	
ご担当: _____ 様	注文日	四六判 / 並製/156頁 / 定価: 2750円(本体2500円+税10%) ISBN978-4-911090-54-1 C0092
	／	